

平成22年度 第2回淀川河川公園  
中流右岸域地域協議会 H22.12.21  
参考資料3

# 多様な主体の参画による 公園の管理・運営の事例



国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

# 目次

## 1. 国営昭和記念公園

1) こもれびの里クラブ

2) 学術・文化・産業ネットワーク多摩

## 2. 有馬富士公園 運営・計画協議会

# **1. 国営昭和記念公園**

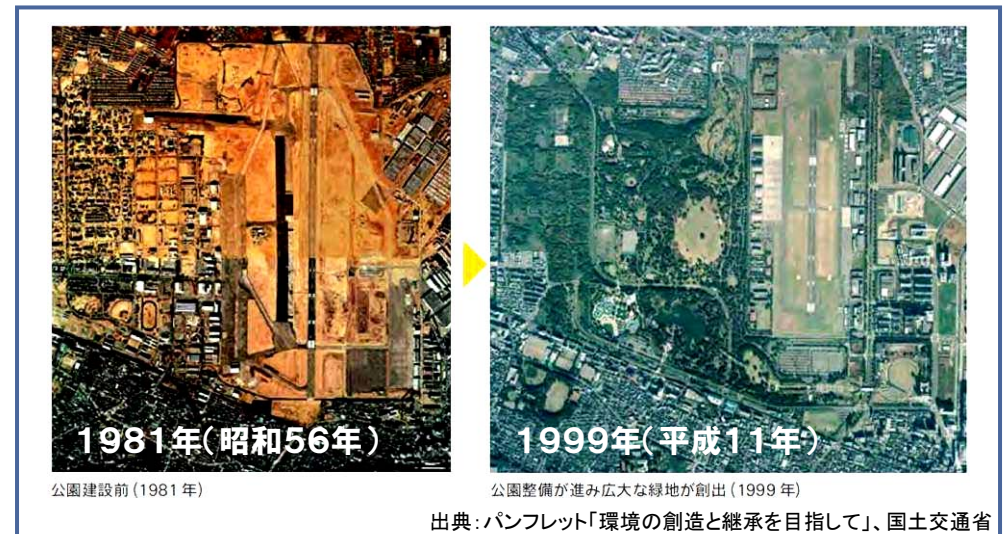
## **1) こもれびの里クラブ**

# 国営昭和記念公園の概要①

- 昭和天皇陛下御在位五十年記念事業の一環として、立川飛行場跡地に建設された国営公園。
- 「緑の回復と人間性の向上」をテーマとして、四季折々の花や散策を楽しむ広場や池、農村体験、緑の文化に関する展示・講義室、日本庭園など多様な施設を設置。
- 農村体験の場「こもれびの里」では、計画・整備・管理の各段階で市民が継続的に参加するなど、官民連携に取り組んでいる。



みんなの原っぱのシンボルツリー



公園建設前(1981年)

公園整備が進み広大な緑地が創出(1999年)

出典:パンフレット「環境の創造と継承を目指して」、国土交通省

場所：東京都立川市  
面積：163ha(計画面積180ha)  
年間来園者：約380万人  
経緯：S55年 工事着手  
S58年 当初開園(70ha)  
H17年 みどりの文化ゾーン開園  
H19年 こもれびの里開園



位置図

出典:国営昭和記念公園ホームページ



- 農業体験の場「こもれびの里」エリアのボランティア団体。平成14年に公募により発足。
- 国営公園で初めての試みとして、開園以降の市民による運営も見据えて、計画・整備段階から、公園事業者と協働で市民参加による公園づくりを進めている。

## ■こもれびの里

- ・「昭和・武蔵野・農業」をテーマに、昭和30年代の武蔵野の農村風景を再現。
- ・官民協働で、農業や年中行事など様々な体験を通じて、自然と暮らしの知恵を伝えていくエリアとして平成19年開園(約5ha)。



## ■こもれびの里クラブ

- 参加者数 101名(平成20年7月現在)  
活動内容 農作業、施設づくり、年中行事、勉強会・見学会、ワークショップなど

### 役割





水田の代かき



稲刈りイベント



ワークショップ



収穫祭



案内板などの施設製作



米つき・縄なえ体験



勉強会「こもれび講話」



国営昭和記念公園

こもれびの里

## 【こもれびの里懇談会】

「こもれびの里」の整備および運営計画の策定にあたって、大局的な観点からの多様な意見を聞き、これを計画に反映させるために設置。

### <構成員>

- ・学識経験者（生態学、市民参加、建築史）
- ・公園管理者
- ・地元立川市・昭島市の農業や生活文化に詳しい有識者
- ・(財)公園緑地管理財団

## クラブと公園管理者の パートナーシップ

～それぞれが明確な役割・位置付けを認識～

### 【指導員】

- ・農業や年中行事、食品加工など、地域の方々に農作業や昔遊びを指導。
- ・実際の生活文化に根付いた活動を行うことができ、クラブ員に伝承される体験や技能も充実。

### 【事務局】

- ・こもれびの里クラブのコーディネーター。
- ・クラブの事務局としての役割を担いつつ、利用者への案内を行う。



失われつつある農村景観の再現

## 課題

①担い手の確保

②持続的な管理

③地域の知恵の伝承

## 取り組み

市民ボランティアの公募

ワークショップ等による  
計画段階からの参加

地域連携による  
指導者層の協力

# **1. 国営昭和記念公園**

## **2) 学術・文化・産業ネットワーク多摩**

- (社)学術・文化・産業ネットワーク多摩は産官学の地域連帯組織。
- 教育を柱に、地域の活性化、調査・研究開発、情報提供、交流促進、大学間連携等を実践。
- 基本方針のひとつとして、「学生が主体的に参画できる事業を創出することで、実体験を通して環境配慮と社会福祉の精神を学べる場を生み出す」ことを掲げている。

## ■事業一覧

### 大学間連携.

- ・ 連携大学との単位互換
- ・ 就職支援（合同企業説明会、第二新卒支援など）
- ・ 学生教育ボランティア
- ・ 一人暮らしのトータルケア

### 国際交流.

- ・ 留学生支援

### 地域人材 育成と教育力 アップ.

- ・ 連続公開講座「花と緑と  
知のミュージアム」
- ・ 多摩・武蔵野検定」
- ・ 女性の学び支援
- ・ 福生市商業活性化事業

### 環境・福祉 貢献.

- ・ 体験型環境教育プロジェクト
- ・ 環境社会貢献
- ・ 東京TAMA音楽祭

○多摩地域を中心とした大学、行政、企業、NPO法人など、計85団体※が加盟。

※2010年4月現在、協賛会員、特別会員を含む

## 正会員

**大学・短期大学(29)** 桜美林大学／大妻女子大学／嘉悦大学／嘉悦大学短期大学部／恵泉女学園大学／工学院大学／実践女子大学／実践女子短期大学／首都大学東京／白梅学園大学／白梅学園短期大学／白百合女子大学／創価大学／創価女子短期大学／拓殖大学／多摩大学／玉川大学／多摩美術大学／中央大学／帝京大学／帝京大学短期大学／デジタルハリウッド大学／電気通信大学／東京家政学院大学／東京経済大学／東京工科大学／法政大学／明星大学／山野美容芸術短期大学

**行政(9)** 稲城市／小金井市／立川市／多摩市／八王子市／羽村市／日野市／福生市／町田市

**企業(19)** (株)アイ・エフ／青梅信用金庫／(株)学生情報センター／(株)環境総合研究会／キリンビバレッジ(株)／(株)クオリティ・オブ・ライフ／京王電鉄(株)／(株)シー・エス・イー／多摩信用金庫／テクノブレイン(株)／(株)ナジック・アイ・サポート／(株)ナジック教育ソリューション／日本たばこ産業(株)立川支店／(株)ばど立川営業所／パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)／日野自動車(株)／(株)ベネッセコーポレーション／(株)毎日コミュニケーションズ／(株)読売新聞東京本社

**団体(6)** (社)アジア教育交流協会／(財)公園緑地管理財団 昭和管理センター／NPO法人 セルフ・リライアンス・パートナーズ／(財)大学セミナーハウス／(財)東京市町村自治調査会／(独)都市再生機構東日本支社(UR都市機構)

## 協賛会員

**大学・短期大学(8)** 亜細亜大学／亜細亜大学短期大学部／東京工業高等専門学校／成蹊大学／日本社会事業大学／日本獣医生命科学大学／武蔵野美術大学／和光大学

**企業(5)** JFE環境(株)／(株)JTB法人東京／(株)チーム・エムツー／日本電気(株)西東京支社／(株)ラティオインターナショナル

**団体(5)** (財)英語教育協議会／NPO法人 東京賢治の学校／(財)東京都中小企業振興公社／NPO法人 日本ケナフ開発機構／NPO法人 バルテノン研究会／個人(2)

## 特別会員

**企業(1)** 多摩都市モノレール(株) **団体(1)** 多摩ニュータウン学会

(2010年4月現在)

- (社)学術・文化・産業ネットワーク多摩が主催し、日本経済新聞社、昭和記念公園と連携。
- 平成19年度より、昭和記念公園「花みどり文化センター」で、住民や学生を中心に、多摩地域の魅力、自然のすばらしさを身近に感じてもらうことを目指して開催。
- 多摩地域のビジネス界や自治体で活躍中のトップリーダーが生き方、仕事ぶり、教訓を語る無料講座を実施。



出典：国営昭和記念公園ホームページ

「花みどり文化センター」の講義室

**の話を聞  
いてみよう**

**参加費  
無料**

## 2010年度 連続公開講座「花と緑と知のミュージアム」

主催/社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩 共催/国営昭和記念公園

第1回	5月27日(木)	18:00~20:00	たましんWinセンター 武蔵ガス株式会社代表取締役社長 山下 真一氏 天然ガスで環境対策まちづくり
第2回	7月29日(木)	18:00~20:00	たましんWinセンター ワイエイシイ株式会社代表取締役社長 百瀬 武文氏 ベンチャーから1部上場へ再工場の発想から脱却せよ
第3回	9月30日(木)	18:00~20:00	たましんWinセンター 株式会社塩野製作所代表取締役 塩野 博万氏 次世代産業航空機関連産業の飛躍を夢見る
第4回	10月 9日(土)	13:30~15:30	国営昭和記念公園花みどり文化センター 植物研究家 泰山 忠三郎氏 多摩の植物と私
第5回	11月25日(木)	18:00~20:00	たましんWinセンター 日本電子株式会社代表取締役社長 栗原 権右衛門氏 Global Solution Provider for Advanced Technologyへ装置メーカーからソリューションを提供する企業へ
第6回	12月18日(土)	13:30~15:30	国営昭和記念公園花みどり文化センター 世界的な型染版画家 田中 清氏 「ゆらぎ」と「つなぎ」型染版画の魅力
第7回	2月26日(土)	13:30~15:30	国営昭和記念公園花みどり文化センター 写真家 岡山 英次氏 多摩の湧水群と世界の水事情
第8回	3月19日(土)	13:30~15:30	国営昭和記念公園花みどり文化センター ガーデンプロデューサー 竹谷 仁志氏 環境をテーマとした庭造り「身上不二」

【インタビュアー】 細野 助博 中央大学大学院 教授(ネットワーク多摩 顧問)

◆お問い合わせ先◆


**社団法人 学術・文化・産業 ネットワーク多摩** 〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 FAX/042-591-9891  
**☎042-591-8540 mail/office@nw-tama.jp** 受付時間 9:00~17:00 (〒E)

## 2. 有馬富士公園 運営・計画協議会

- 「自然休養型の文化公園」を基本テーマとした、兵庫県内で最大の都市公園。
- 三田市のシンボル「有馬富士」をはじめとした豊かな自然を生かし、棚田や生態園、かやぶき民家、多目的ホールなど多様な施設を設置。
- 兵庫県で初めて、県民の参画と協働による本格的な公園運営を導入。住民主体で企画運営する「夢プログラム」を実施するなど、先進的な取組を行っている。



有馬富士とかやぶき民家

場所：兵庫県三田市

面積：175ha(計画面積416ha)

経緯：S63年度 整備着手  
H13年 当初開園(66ha)  
H21年 第1期区域全体開園



位置図



棚田



水辺の生態園



林の生態園・スカイデッキ



かやぶき民家



- 平成11年、全国へ発信できるような新しい公園文化のスタイルとして、地域住民が主役となった公園運営をめざすため、兵庫県は人と自然の博物館に協力を要請。
- 開園後の管理運営について学識者や行政関係者、住民で検討を行い、運営計画を策定。
- 平成12年、運営計画に基づく住民参画型の公園運営をサポートするため、「有馬富士公園運営・計画協議会」が発足。公園の計画や運営について提案・助言を行っている。

## ■運営計画の3つの柱

- ①社会性ある活動に参加する意欲を持つ人のニーズに応えられるような公園運営システムの構築
- ②公園利用者が、従来型のゲスト的な利用に加えてホストになれるような仕組みづくり
- ③公園関係者が視察に来るような“名所”となる公園づくりをめざし、公園利用者と模索しながら進める

## ■協議会の構成

住民代表（公募）	兵庫県立人と自然の博物館
学識経験者	(財)兵庫県園芸・公園協会
兵庫県	兵庫県教育委員会
三田市	三田市教育委員会



有馬富士公園運営・計画協議会の様子

- 県民参画の公園運営を目指し、公園利用者がホスト(主催者)になれるしくみとして実施。
- 住民グループなどによる自然を活かした手作りのプログラムを協議会が認証してサポート。

## ありまふじ夢プログラム ～みんなでつくるふるさと公園～



### ありまふじ夢プログラムとは

有馬富士公園には、散策したり、絵を描いたり、ボール遊びをしたり、色々な楽しみ方や過ごし方をしている人々が訪れています。でも「公園でこんなことをしてみたい!」「こんなことができたらなあ～」と思ったことはありませんか?

夢プログラムは、皆さんのそんな思いを単なる参加者(ゲスト)ではなく、主催者(ホスト)として実現するための仕組みです。色々な活動をしている住民グループや学生グループの方も大歓迎です!



皆さんも、公園の“ゲスト(参加者)”ではなく  
“ホスト(主催者)”として活躍してみませんか?

**メリット** 有馬富士公園運営・計画協議会が認証した「夢プログラム」は、当協議会との共催事業となり、園内の施設(部屋)や備品が、無料で利用可能になります。また、皆さんが公園でプログラムをスムーズに実施できるよう、公園職員がサポートします。

**条件**

- 自らプログラムを企画し、責任を持って実施できる2人以上のグループ
- 夢プログラムの趣旨に賛同し、活動すること
- 営利を目的とせず、一般住民を対象とした活動をする

**費用** 無料。(ボランティア保険は各自で加入されることをお勧めします)

問合せ・申込先:有馬富士公園運営・計画協議会 事務局  
TEL 079-562-3040(パークセンター内)



スキを使ったクラフト教室



農作業体験

31グループが113プログラムを実施  
参加者は延べ54,000人 (平成20年度現在)

有馬富士公園運営・計画協議会では、県民・市民のみなさんが主人公となる公園運営を目指しています。

みなさんは「来園者＝ゲスト」ではなく、ホストとなって私たちといっしょに子どもたちにプログラムを提供したり、自然環境を調べたり、公園を整備したり、将来のことを語り合ったりするにちがいありません。

今までにないコミュニティがここに生まれ、有馬富士公園は生き活きと成長してゆくのではないのでしょうか。

有馬富士公園を愛し、みなさんの心のふるさととなる公園づくりを担っていただける多くの方のお越しをおまちしています。

（有馬富士公園運営・計画協議会）